



2023年8月1日 第20号

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX049-272-7092 ホームページ <https://hatoyama.info/>

8・9月の活動

■第3回熊井の森写真学校

8月26日(土) 午前8時30分、かわせみハウス集合。参加費1500円。参加者の希望に合わせた撮影テーマを元に、三森さんの指導で充実した授業があります。

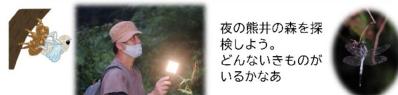
■夜の生きものの観察会

後援/鳩山町・鳩山町教育委員会

「熊井の森」で夜の生きものの観察会

8月26日(土) 17時 受け付け

観察場所 熊井の森周辺
集合場所 上熊井集落センター
鳩山町熊井1185-1 (ちよっくの先)



夜の熊井の森を探検しよう。
どんな生きものがあるかな

講師 三森典彰さん
ネイチャーガイド・環境保全活動家・写真家・専門学校講師など様々な分野で活躍

どんな虫がライトに集まってくるかな



参加料金/大人・高校生1000円 小・中学生500円
定員30名 先着優先 / 小中学生は保護者同伴
★事前に申し込みください

この事業は(公財)サイゼン環境保全基金の助成を受けています
主催 NPO法人はとやま環境フォーラム
申込みと問合せ TEL 049-227-3001 mail kawasemi3001@gmail.com

8月26日(日)
午後5時～8時 集合場所/上熊井集落センター(ちよっくの先)

活動場所/辻川および熊井の森の裾野
参加費/大人・高校生1000円、小中高生500円。

熊井の森に仕掛けたトラップに集まってきた虫たちの生態を、夜にベテランガイドの三森典彰さんが解説します。当日の運営ボランティア

にご協力ください。

■熊井の森現地確認観察会&説明会

9月2日(土) 午前9時、上熊井集落センターに集合。自然調査員の串田宏人さん(埼玉県生態系保護協会)と共に熊井の森のトラスト地をめぐり、草刈り作業で刈り取ってはいけない植物の現地確認を行います。

令和5年度埼玉県森林ボランティア育成事業 後援/鳩山町

植物・野鳥観察会

熊井の森を歩こう

専門調査員と一緒に歩き、生物多様性に優れた熊井の森の様子が学習できる格好の機会です

9月2日(土) ●午前9時集合
会場 ●上熊井集落センター
(上熊井農産物直売所のちよっく先)
観察会 ●9時20分(出発)～11時(終了)
報告会 ●11時～12時

講師 ●串田宏人(公財/埼玉県生態系保護協会)
定員 ●40人(事前申込み者優先)
参加費 ●無料

《主催》NPO法人はとやま環境フォーラム
Tel:049-227-3001
mail:kawasemi3001@gmail.com

一緒に里山づくりをしませんか

《作業ボランティア募集》

10月～来年2月、熊井の森の森林整備作業にご協力いただける方を募集しています。草刈り、枯れ倒木の処理のほか、刈り取った草や枝の運搬や記録係などの軽作業もあります。
(日当支給など詳細は問合せください)
問合せ先 NPO法人はとやま環境フォーラム
Tel:049-227-3001

■トラスト7号地作業通路草刈り

9月3日(日) 午前9時、石場沼横の臨時駐車場に集合。石場沼からトラスト7号地に向かう通路と、木橋から右奥に抜ける通路の先までの草刈りをします。秋に入ってからトラスト7号地の倒木処理のための作業道路の確保が目的です。協力いただける方はご一報を。

8 August

2023(令和5年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	31	1	2	3	4	5
6 ●資源回収	7	8 立休 ●理事会	9	10	11 山の日	12
13 ●トラスト看板設置	14	15 熊井の森の日	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26 ●写真学校 ●夜の生きもの観察会
27	28	29	30	31	1	2

9 September

2023(令和5年)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	29	30	31	1	2
3 ●資源回収	4	5 ●理事会	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16 ●栗拾い
17 ●栗拾い	18 ●ハムキ'収穫	19	20	21	22	23 ●ハムキ'収穫
24 ●ハムキ'収穫	25	26	27	28	29	30

■トラスト地看板を3カ所に設置



7月9日(日)に、ピザ窯横と野鳥観察舎前と石場沼入口の3カ所にトラスト地看板を設置してきました。施工人は4人。「日本ナショナル・トラスト協会の助成を受けて、里山保全のためのトラスト活動を行っている」と周知するための看板です。15日には杭の補強と改訂版「熊井の森トレイルMAP」の貼付け作業を行い、看板立て作業は終了。ご苦労さまでした。

■ピザ窯に登る階段設置の事前作業



7月23日(日)午前9時に6人が現地集合。下草刈りのあと森さんが重機で枯れ木撤去。階段を作る場所の傾斜を緩やかにするために土手を削る作業もしましたが、1

日では仕上がらず、後は次回に。暑かったあ。

■第1回まちづくり懇談会是不発

7月11日、午前10時～12時。かわせみハウス。「里山という自然財産を活かした町づくりができないか」を話合う場を設けました。広報も声掛けもほとんど出来ないまま当日を迎えました。事前に日程不都合の連絡が数名からあり、それでも何人かは来るのではないかと期待しましたが、残念ながら参加者はありませんでした。

■第2回環境フォーラムの活動目標を話合う会

7月19日(水)午前9時半、かわせみハウスにて。話し合いの様子は次号「熊井の森通信」掲載。

■はと麦づくりの現地視察



7月6日(木)、午前10時、新たにハトムギ栽培の仲間になる皆さん(嵯峨、山口、ゾーエ、平井さんの4人)が熊井の森の周りを散策し、ハトムギ畑の場所を確認し、熊井地区の休耕地の様子などを現地視察しました。「どうせやるなら、大きく」とか「この場所にヤギを飼ったり、ハーブを植えるのもいいわね」「来年からのスタートを目指そ

読者の 読者の 読者の より

■ハトムギ茶を楽しんでいます



ハトムギに出会って2ヶ月余り、ほのかな甘い香りと素朴な味わいを楽しんでいます。飲み方をいろいろ試してみました。

①一時間以上弱火で煮出すと薬のような風味に。薬効成分のため? ②はハトムギ再利用。一度煮出したハトムギを日に干し粗挽きしてティーパックで再び煮出す。こくが出る感じです。

ミルが無いので金槌で粉碎しました。③別途頂戴した深煎りは、粗挽きしてペーパーフィルターでドリップ。美味しいカフェインレスコーヒーになりました。いただいたハトムギは有機肥料・無農薬・自家栽培とのこと。どれだけ手間暇かかるか、想像もつきません。皆様に感謝です。ハトムギとの出会いを有り難うございました。

(林安美 東京都)

う」と、元気いっぱい。今後が楽しみです。

■トラスト地の固定資産税が減免

NPO法人はとやま環境フォーラムが熊井の森に所有する18,570㎡の山林の固定資産税が町長決裁で減免(なし)されることになりました。

これは、昨年5月11日付で町長に提出してあった「減免要望書」への回答(4月13日)です。固定資産税は市町村税なので町長の判断で決められ、これまで減免が認められたのは、全国で大津市、彦根市、藤枝市、湯沢町、瀬戸内町、松川村ほか15件。埼玉県では所沢市(トトロの森)、伊奈町(伊奈赤門屋敷林)に次ぐ3番目の事例が鳩山町(熊井の森トラスト)です。

ナショナル・トラスト活動に関しては、平成23年に環境省から各都道府県知事宛に「自然環境保全法人が所有する不動産の固定資産税の軽減措置が適当である」旨の通知が出ていて、鳩山町町長は「それに準ずる活動を行うNPO団体に対しても減免措置ができるものとする」と新たな基準を設けました。私たちのトラスト活動が名実ともに鳩山町にも認知された出来事です。

■令和5年度埼玉県森林ボランティア育成事業補助金の交付決定

6月30日付で、上記の補助金交付決定通知が届きました。交付金額は25万円。来年2月末日までの活動に対して。熊井の森での里山づくり作業(下草刈り、トレイル整備、トラスト地の枯れ倒木の処理、トラスト看板・階段設置)のための機材・資材費や、その事前現地調査&観察会運営費などが使い道です。一部作業には日本ナショナル・トラスト協会の助成金から日当を支払います。助成金ではなく補助金の交付は初めてで、会計処理はより厳密ですが、これまでの経験でそれほど負担にはならないはずで

「熊井の森」の「山の神」を祭る毛呂神社 4年ぶりの夜祭に感動



7月15日（土）、4年ぶりに開催された下熊井地区の毛呂（もろ）神社の夜祭りに行った。4時過ぎに、獅子舞が奉納されると聞いていたので、明るいうちに神社へ。

神社へ向かう坂道には、手書きの絵の灯籠が点々と置かれ、深い木立の中、神秘的な雰囲気が漂っていた。登っていくと、華やかに飾られたお社や屋台があった。氏子の男女や家族連れなど、けっこうたくさんの方が集まって賑やかに話し合っていた。

氏子に交じって神事を見ていると、幅広い麻の紐を手渡された。周りを見てみると、みなさん、肩から斜め掛けにしていた。いわれは分からなかったが、同じように結ぶ。なんだか楽しい、祭りの中に入っていく感じがした。

次は、重そうな立派な獅子頭2体が登場。氏子が頭胴尻尾を持ち、坂を下りまた登って来た。本来ならば、下熊井の地域中を練り歩くそうだ。

しばらくすると、屋台からチンチキチンチキ・ドンドンとお囃子が響いてきた。男性も女性も、子どもたちも屋台へあがって、太鼓をたたく。

一休みの後、今度はお面を付けた踊りが屋台に登場した。お囃子に合わせ、ひょうきんな動きをする。前で子どもが真似をして体をくねらせる。なんと、かわ

いいこと。派手さはないけれど、ほんとおらが村の良いお祭りだなあと、歴史が生きている感じがして感動した。



（公財）日本自然保護協会発行「自然保護」7－8月号に「熊井の森」トラスト活動が紹介



「熊井の森」にトラスト地を確保して保全活動に取り組んでいます。

埼玉・加藤 博（NPO法人 はとやま環境フォーラム）

熊井の森は、埼玉県比企郡鳩山町にあります。森全体約100haのうち、今年4月に取得した石場沼上の山林を含めて、現在、約1.9haを当団体が取得しました。さらに、賃貸契約を交わした山林と合わせ、合計約2.7haのトラスト地が私たちの活動のフィールドです。

この森で太陽光発電施設の計画が持ち上がり、2019年に当団体と埼玉県生態系保護協会東松山・鳩山・滑川支部が協同で太陽光発電についての講演会を開き、近隣から多くの参加者がありました。参加者より情報を共有する組織を作るべきという多くの声が上がリ、「比企の太陽光発電を考える会」が発足、その後ほとんどの比企郡自治体で、立地を無視したずさんな太陽光発電計画を抑制する条例を促進する市民運動が起きました。

熊井の森での絶滅危惧種の確認も増えています。植物では埼玉県絶滅危惧種44種、昆虫・同27種、鳥類・同46種（地帯別危惧種含む）、その他・同16種（魚類、哺乳類、爬虫類、両生類、甲殻類含む）。毎年2～3

月には、森の水流のいたるところで、ニホンアカガエルの卵囊があふれます。

今年3月以降も町内でサシバ、ノスリの飛翔がたびたび見られ、営巣が予想されますが、地元の方々は、絶滅危惧種に関心を寄せる人が少ないのが現状です。いつ起きるかもしれない開発計画などから熊井の森を保全するため、トラスト地が有効に機能し、訪れる人たちの自然学習に寄与できることを目標に活動します。

▶はとやま環境フォーラム <https://hatoyama.info/>
Eメール: kawasemi3001@gmail.com



熊井の森の
散策路
（トレイル）

ニーハオ 熊井の森歳時記

夏の熊井の森の門番 山百合



蝉が鳴き始める頃に、野鳥観察小屋の近くに自生している山百合が熊井の森の門番のように静かに現れ、「ようこそ、熊井の森へ」。

あの高貴な姿と芳醇な香りが入山者を魅惑する。

山に生えるから「山百合」、とても分かりやすい命名。じゃあ、「百合」の由来は？ 実は、それが根、つまり鱗茎と関係がある。白い鱗片で覆われていて、まるで白蓮の花のようで百枚（多数の意）が抱きしめ合っているの、「百合」と命名したらしい。中国では新郎新婦にかかる祝福の言葉「百年好合」（百年愛し合う）もここから来た。日本では重ね合う鱗片から「子孫繁栄」の意味も込められ、おせち料理の一品にもなっている。人の想いや願いごとを植物に寄託するのは、どこの国でも同じようだ。

ちなみに、百合の根は生薬で鎮咳・滋養の効用があり薬膳にぴったり、あのホクホクした食感とほんのりの苦みを存分に味わえる百合粥は私の大好物。山百合の根も食用可能だが、花のほうがもっと美しいので、毎年目で楽しみ、愛で、静かに見守ってあげよう。（王 菲）

熊井の森畑日記 ハトムギものがたり⑥

草引き、暑かったなあ

7月に入り連日の酷暑、鳩山町も40℃近い気温を記録し、日中は熱風を



感じるほどだった。ハトムギ畑の雑草が気になりながらも、足が向かない。そんな日々だったが、7月20・21日は、天気予報は曇り、気温は31・32℃位とか。絶好の草引き日和じゃないですか、とばかりにハトムギ畑へ。

まあなんと元気な草たち、しっかりと畝間に茂っていた。どこから作業していこうかと思案するほどだったが、ハトムギ自身は背高く育って、もう花も咲き、緑色の実もつき始めていた。去年の記録を見てみると、8月10日頃に実り始めたを書いてあったので、今年は実りが少し早いかもしれない。道具も用意していたが、ハトムギの畝の中へ入り、手で引き抜いた方が効率良さそうだと考え、手で引き抜いては、ハトムギの株元へ置いていった。土の乾燥よけにも、緑肥にもなってくれるだろうから、株元へ並べていった。あーやっぱり暑い！ 汗がぼとぼと落ちる。でも、吹く風は少し涼しくて心地好い。土の匂いや葉の匂いも感じられる。そして、植え付けの時に、後々のことを考えて、畝間を70cmにしておいたことが、体が畝の間に楽に入り込めて、とても作業がやりやすい。70cmは正解だったねと笑いあった。（嵯峨 千代美）

熊井の森トラスト地紹介 第7号地



地番／鳩山町熊井石場1282、1283
面積／3,871㎡ 地目／山林
取得年月／2023年4月



熊井の森の中核をなすため池（石場沼）の真西方向に帯状に伸びる谷津である。地目は山林だが、かつては水田耕作もされていた湿地である。耕作が行われなくなり、さらにゴルフ場開発計画が消滅するまでの数十年間放置されていた間に、樹木が生え、水害発生などによって倒れ、朽ち果てた枯木が一面に点在している。

さらに、取得した土地の東側は石場沼に接していて、昔は地元の方々が田んぼ仕事などでよく通っていたであろう町道も、長い年月の間に岸

辺のヨシに覆われ、新たな生態系を生み出している。

このトラスト7号地と石場沼の南側に取得したトラスト5・6号地は、石場沼の水源流域にあたり、また、生き物たちの重要な餌場にもなっている。今後、この一帯をどう保全し

ていくか、ビオトープ作りにどう取り組むか。専門家を交え議論を重ねることになるだろう。

熊井の森へのアクセス

【バス】東武東上線「高坂駅」西口広場で町営路線バス「越生駅・上熊井方面行」8:15発(約20分)に乗車→「上熊井」バス停下車、徒歩3分。

【クルマ】関越自動車道坂戸西スマートIC下車 → 鳩山町役場 → 鳩山駐在所を左折し県道41号線を越生方向に走ると、左側に上熊井農産物直売所（ちょっくま）あり。そこから熊井の森へ。